

Back Number

本論文は

# 世界経済評論 2021 年11/12月号

(2021 年 11 月発行)

掲載の記事です



## 世界経済評論 定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%

送料無料

OFF

富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読  
期間中

デジタル版バックナンバー 読み放題!!



世界経済評論 定期購読



☎0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。  
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp

雑誌のオンライン書店

# 日本から革新的なワクチン、 治療薬を創製するために



第一三共株式会社 代表取締役社長兼 CEO

眞鍋 淳

パンデミック収束のために、ワクチン・治療薬を一刻も早く世界中に届けることが製薬企業に求められている。当社においても日本発の COVID-19 mRNA ワクチンの開発を鋭意進めている。

COVID-19 ワクチンの開発は欧米が先行したが、欧米もパンデミック発生後1年間でこれらのワクチンを創製できたわけではない。過去のパンデミック等の経験から感染症対策を国家の安全保障と捉え、平時から研究開発を進め、その備えを梃子に有事に官民一体で機敏に動いた。次のパンデミックでは日本が世界に先駆けてワクチンを創製することを目指し、本年6月に「ワクチン開発・生産体制強化戦略」が閣議決定された。産学官が連携し、この戦略を実行していかなければならない。

ワクチンやバイオ医薬品の生産には、原薬とともに製造過程に必要なフィルターやシングルユースバック等の資材が欠かせない。今回、COVID-19 ワクチンの大量生産により資材が世界的に不足し、日本企業の資材の海外（主に米国）依存が浮き彫りになった。既存のワクチンや医薬品の製造にも影響を及ぼしている。今後は、これらの国産化の促進とともに、Quad（日米豪印戦略対話）等の同盟国間での連携も

必要と考える。

グローバルに人が往来する社会でパンデミックを収束させ、また、SDGs の理念「誰ひとり取り残さない」社会を実現するためにも、ワクチンは低所得国にも迅速に供給される必要があるが、このための方策として COVID-19 ワクチン・治療薬に関する知的財産の放棄が議論されている。しかしワクチン生産には高度な技術を要することから、知的財産の放棄に抛り同等の製品ができる保証はなく、むしろ品質不良又は効果不十分なワクチンが出回る危険性が懸念される。製薬産業はアライアンスや技術移転による生産拡大を図っており、知的財産は研究開発やこの様なアライアンスを促進するイノベーションの源泉である。

当社の Purpose は「世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献する」であり、今回の COVID-19 発生により、自身の責任を改めて重く受け止めている。我々の日常において、ワクチンや治療薬は、水や電気等と同様のインフラであり、経済安全保障の視点からも、製薬企業は社会生活を支える基盤産業としてその責務を果たしていかなければならない。社会からの期待に応えるべく全力を尽くしたい。

（まなべ すなお）